

六日町商工会景況調査報告書(H29.1～3)

組織番号 0 6 3

商工会名 六日町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 六日町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
ウ 回答企業数 44 事業所 (うち小規模事業者数 44 事業所)
(回答率 88.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年1月～平成29年3月
(調査時点 平成29年3月31日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	9	20.5%	9	20.5%
建設業	8	18.2%	8	18.2%
卸・小売業	10	22.7%	10	22.7%
サービス業	17	38.6%	17	38.6%
合計	44	100.0%	44	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする
 全般的に「不変」「悪化」が多数を占めている。現状からの脱却が当地区の課題である。

【後継者の状況】

全体の3分の2が後継者無しである。特に製造業は90%が後継者無しで深刻な問題である。

後継者 あり	16事業所	36.4%
後継者 なし	28事業所	63.6%

【売上高】

前年同期比12ポイント低下、前期比26ポイント低下、今後の見通しについては、5ポイント低下である。前期比では売上高の低下が高かったものの、今後の見通しについては前向きに考えている事業所も多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
14	10	19	9	14	20	11	19	13

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする
 前年同期比26ポイント低下、前期比21ポイント低下、今後の見通しについては14ポイント低下である。前年同期比でみると採算悪化している事業所が多い。今後についても、採算が好転すると考えている事業所は少ない。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
6	20	17	3	28	12	8	21	14

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする
 前年同期比26ポイント増加、前期比18ポイント増加、今後の見通しについて28ポイント増加である。原材料費の高騰に伴って、仕入単価が今後も増加する見込みであると考えている事業所が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
11	27	1	10	26	3	11	29	0

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする
 前年同期比3ポイント減少、前期比5ポイント減少、今後の見通しについては5ポイント増加である。販売単価については今後も同じくらいで推移すると考えている事業所が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
5	28	6	5	27	7	7	28	5

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
 前年同期比30ポイント減少、前期比26ポイント減少、今後の見通しについて21ポイント減少である。資金繰りについては今後も悪化が予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	26	15	1	30	12	3	28	12

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
 前年同期比5ポイント減少、前期比8ポイント減少、今後の見通しについては3ポイント増加である。今後の雇用動向については現状と同じくらいと考えている事業所が多いようだ。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
2	34	4	1	34	4	3	35	2

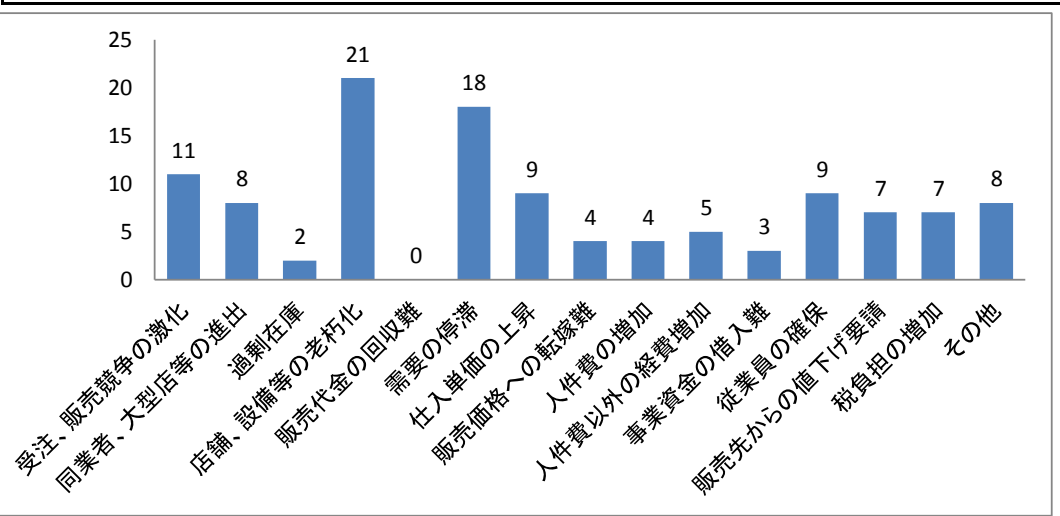
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
 前年同期比37ポイント減少、前期比23ポイント減少、今後の見通しについては21ポイント減少である。今後の景況についても良い方向に向かわないと考えている事業所が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
4	18	19	3	25	12	5	23	14

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
 「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」が多数を占めている。景況感が良くないため、設備の更新等が出来ない事業所も多い。また、「受注・販売競争の激化」「仕入単価の上昇」等の要因を懸念している事業所が目立つ。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

- ・前年同期比(28年1月～3月)
採算が33ポイント低下、資金繰りが44ポイント低下
- ・前期比(28年10月～12月)
販売単価が25ポイント低下、資金繰りが33ポイント低下
- ・見通し
売上・採算が56ポイント低下、販売単価43ポイント低下
資金繰りが56ポイント低下、景況が63ポイント低下
全体的に、今後の見通しは良くない傾向である。

(2) 建設業

- ・前年同期比(28年1月～3月)
売上13ポイント増加、仕入単価33ポイント上昇、採算・資金繰り・景況が25ポイント低下
- ・前期比(28年10月～12月)
売上25ポイント低下、景況判断38ポイント低下、販売単価が40ポイント低下。
- ・見通し
売上が25ポイント上昇。仕入単価33ポイント上昇、資金繰りが13ポイント低下。今後の見通しとして、一部期待感のあるものもあるが、全体的に見通しは良くない。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比(28年1月～3月)
売上が10パーセント低下、仕入単価が20パーセント上昇、資金繰りが33パーセント低下、景況が56パーセント低下。
- ・前期比(28年10月～12月)
景況が33パーセント低下、雇用が25パーセント低下。
- ・見通し
売上が10パーセント増加、景況が11ポイント低下
一部期待感はあるものの、見通しとしては良くない。

(4) サービス業

- ・前年同期比(28年1月～3月)
採算が19ポイント低下、仕入単価が40ポイント上昇、景況が44ポイント低下。
- ・前期比(28年10月～12月)
売上が50ポイント低下、採算が19ポイント低下、仕入単価が27ポイント上昇。
資金繰りが31ポイント低下。
- ・見通し
仕入単価が47ポイント上昇、販売単価が25ポイント上昇、資金繰りが19ポイント低下。景況が13パーセント低下。見通しとして、全体的に良くない。